

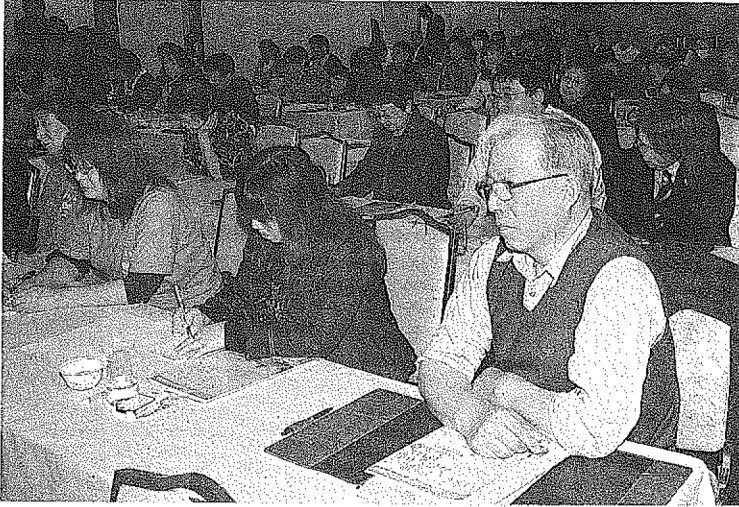
自殺対策連携強化を

青森 民間団体関係者ら研修会

ネットワーク構築図る

県内で自殺対策に取り組む民間団体の連携を強化し、ネットワ
ークの構築を図ろうと、青森市内のホテルで3日、民間団体の代
表者ら約110人が参加して交流・研修会が開かれた。参加者は、
映画鑑賞やシンポジウムなどを通して、自殺の予防や自殺未遂者
の心のケアについての対応を学んだ。

(山内はるみ)



メニューを取るなどしながら自殺対策を考え
るシンポジウムに聞き入る参加者たち

県内では近年、自殺
対策に関する民間団体
の活動が活発化してい
るが、各団体の横のつ
ながりが少ないという
課題があった。

そこで、団体同士の
ネットワークを作り、
情報を共有しようと、
県精神保健福祉ボラン
ティア連絡協議会が交
流・研修会を開催し
た。

人口10万人当たりの
自殺率が17年連続で全
国最悪の秋田県で、実
際に行われている自殺
対策の取り組みを追っ
たドキュメンタリー映
画が上映された後、同
県や青森市浪岡で団体

を運営している3人に
よるシンポジウムが開
かれた。
秋田市で10年間、活
動を続けているNPO
法人「蜘蛛(くも)の

糸」の佐藤久男理事長
は、「自殺対策とは、
地域住民の命を救った
めの活動」と提言。「対
策は、地域別や原因別
などに分けて考え、そ
れぞれの専門家の連携
が必要」と述べた。
シンポジウムを聞き

た参加者からは、「心
の健康について、子ど
もが正しい知識を学べ
る場があった方がいい
のでは」などの意見が
出された。